

「ドライバー異常時対応システム」(EDSS) 搭載 新型路線バス 9月より順次導入中！

西武バス株式会社（本社：埼玉県所沢市、取締役社長：渡邊一洋）は、本年9月より「ドライバー異常時対応システム」(EDSS) を搭載した路線バスを導入しております。

当社では、2018年10月以降の高速バス車両への「ドライバー異常時対応システム」(EDSS) 搭載に続き、路線バス車両においても導入を開始し、今後の車両更新時には同システムを標準搭載した車両を導入してまいります。

西武バスグループでは、衝突被害軽減ブレーキ、車間距離警報装置、車両ふらつき防止装置などこれまで先進安全技術でドライバーの運転を支援するシステムを装備した車両の導入ほか、さまざまな安全に関する投資をおこなってまいりました。今後も安全に関する投資を計画的かつ積極的に実施していくとともに、安全風土構築に向けた取り組みや安全に向けた教育・訓練の充実を図るなど、「安全・安心のバスを提供する」ためにハード・ソフト両面から安全対策に取り組んでまいります。

詳細は、別紙のとおりです。



お客さま操作用非常ボタン



運転士操作用非常ボタン



客席からも運転士の様子が分かるよう仕切りを透明板化

別紙

- 1. 車種 いすゞ自動車 エルガ
 三菱ふそう エアロスター

- 2. 安全装置 ドライバー異常時対応システム (EDSS:Emergency Driving Stop System) とは

走行中に運転士が急病などで運転操作ができない状態になった場合に、運転士自身またはお客さまが非常ブレーキスイッチ（ボタン）を押すことで、車両を緊急停止させるとともに車外にも異常事態を知らせます。システムが作動すると、バスの速度が徐々に落ち、お立ちのお客さまの安全性に配慮したブレーキ制御により、停止します。さらに、車外へホーンを吹鳴し、ストップランプとハザードランプを点滅させて異常を知らせます。



【いすゞ自動車販売（株）参考資料抜粋】

- 4. 導入車両数 路線バス 37両（2019年度）

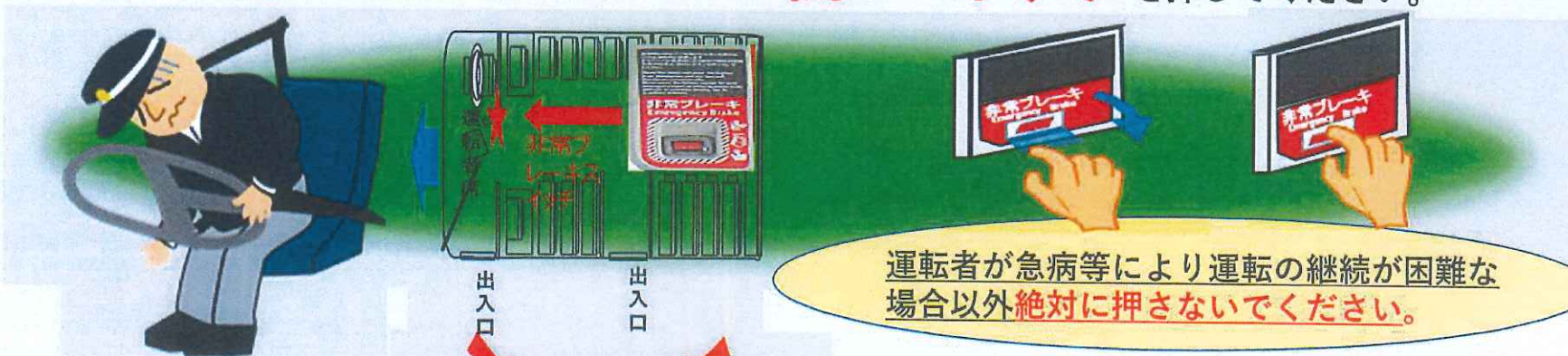
- 5. その他 お客さまへのご注意・お願いは添付資料（国土交通省・日本バス協会作成資料）をご確認ください。

以上

ひ じょう
このバスには**非常ブレーキ**（※注）が搭載されています。
とうさい

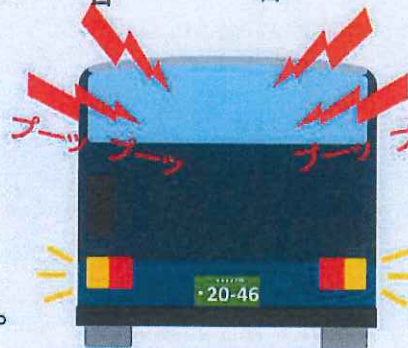
※注:ドライバー異常時対応システム。

うんてんしゃ きゅうびょう うんてん
運転者が急病等で運転できなくなった場合、
ひじょう
非常ブレーキのカバーを**開**け**スイッチ**を押してください。



運転者が急病等により運転の継続が困難な場合以外絶対に押さないでください。

おと ひかり
音と光により
けいほう
警報を発生し
まんきゅうていし
緊急停止します。



おたちのお客様は
てすり・つりかわ等にしっかりと**おつかまり**ください。
おすわりのお客様は
ふかこし か
深く腰を**掛け**、**てすり等**にしっかりと**おつかまり**ください。
小さなお子様をお連れのお客様は
お子様をしっかりと**抱きかかえて**ください。

(緊急停止後は、駐車ブレーキを引き、警察及び消防、右記のバス会社へ**通報**願います。)

(危険ですのでむやみに**車外に出ない**ようにしてください。)

※運転者の異常時以外の非常ブレーキスイッチの操作は**法令により禁止**されています。

バス会社名押印使用
スペースを想定



国土交通省

公益社団法人

日本バス協会